



山下
こういち

プロフィール
過去25年以上、日本及び海外にて大型インフラ事業の経済財分析及び官民連携事業のアドバイザーとして活躍。再生の道 副代表

大田区を再生する 4つの改革の柱



1 隠さない

大田区で行う事業等に関連する情報は、法律上公表できない情報以外、基本すべて公開し、区政の透明性を徹底的に確保します。



2 特定の団体のみを優遇しない

企業団体献金に強く反対します。これによって、特定の団体のみを優遇するような不公平な政策を根底からなくします。



3 無駄遣いをしない

大田区の事業の評価方法を抜本的に見直します。すべての事業の評価結果を基本公表し、効果の薄い無駄な事業を一掃します。



4 より良い行政サービスを提供

官民連携（PPP）などを積極的に活用し、事業コストをより安く抑えながら、区民への行政サービスの質を向上させます。

4つの改革により浮いた予算を**経済の基礎を再生し**
安定的な所得増加のために集中投資！ => 詳細は裏面へ

4つの改革により浮いた予算を経済の基礎を再生し 安定的な所得増加のために集中投資！

目の前の選挙対策の「バラマキ」は行いません。

行政改革や無駄な事業の整理、官民連携によって生み出した貴重な財源は、区民の皆様の生活の土台を支え、未来への投資となる次の「4つの重点分野」に割り振ります。

1  教育の充実 記憶重視から理解重視へ マスプロ方式から伴走型教育へ 大田未来ファンドの設置による 海外留学支援	2  少子化対策の推進 正規雇用の推進 若者世代の住環境改善 シニアボランティアとの連携
3  地元の産業育成 ものづくりの街・大田区の伝統と 強みを生かした、地域企業の 成長後押し	4  商業等地域の活性化 羽田空港への単なる通過点でない動線づくり 買い物・遊び・宿泊に既存の 観光資源を有効活用



新空港線（蒲蒲線）の見なおしから KAMATA スカイウォークへ

羽田空港に直通しない（1期工事）、900億円以上の血税投入、多摩川線利用者が不便になる蒲蒲線は、問題ありすぎます！

シンプルに東急・JR蒲田駅と京急蒲田駅を「動く歩道」でつなぐことにより、
2つの駅を一体化するのがベストです。商店街への動線も確保できます。



学歴

1995年 ピッツバーグ州立大学（政治学士）
1998年 広島大学大学院国際協力研究科（学術修士）
2008年 広島大学大学院法務研究科（法務博士）



職歴

2022年～現在： グローバルチャレンジ（インドネシア&日本）取締役社長
2009年～2022年： コーエイリサーチ&コンサルティング インフラファイナンスグループ
2000年～2005年： PwCアドバイザリー プロジェクトファイナンス/民営化チーム
1998年～2000年： 東京設計事務所 海外部



ご意見お待ちしております
koichi.yamashita.saisei@gmail.com

山下こういちニュースNo.1
発行：山下興一後援会